

令和3年8月30日

銭函中学校保護者の皆様

小樽市立銭函中学校
校長 山崎 徹也

令和3年度7月 保護者アンケート結果について

残暑の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、平素より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。

さて、先日は「銭函中学校の教育に関するアンケート調査」にご協力をいただきまして誠にありがとうございました。いただきました貴重なご意見を、今後の学校改善に役立てていきたく思います。アンケート結果（グラフ）は別紙をご覧ください。

<アンケート結果の分析について>

ほとんどの項目において、「ややあてはまる」と中心に肯定的な回答が多く、現在の銭函中学校が生徒にとって充実した学習・生活環境になってきていることが伝わってきます。

特にNo.6の項目「学校は、安全で安心な環境を整えたり、安心メールの配信等を通して安全に配慮した環境整備を行っている。」は、回答数の90%以上に肯定的なご意見をいただいております。今後も、安心メールでの迅速な情報伝達など、安全に配慮した環境づくりに継続して取り組んでいきます。

また、No.8「学校はタブレット端末活用等を通し、臨時休校の際に学びを止めないための準備を進めている。」についても多くの肯定的なご意見をいただいております。持ち帰り時におきましては、破損に注意するとともに、学習に効果的な活用となるよう、ご家庭でもご指導いただきたく思います。

その一方で、No.12「お子さんは、自律的に生活する習慣が身についている。」の数値が他に比べると低くなっています。予測不可能な社会の中で、自ら考えて正しい判断の下で動く能力を身に付けるとはとても大切です。本校としても、「置き勉BOX」（家庭学習に必要な教材を自分で判断し、それ以外は学校に置いておく）の設置や学習計画表の作成、情報モラル教室（スマートフォン、インターネットの正しい利用方法を民間企業の講師を招いてレクチャ）などを通して、自分で考えて行動できる人間の育成を図っています。ご家庭におきましても学習方法について話し合うことなどを通して、ともに自律した人間の育成を図っていただければと思います。

記述式のご意見についてもすべて読ませていただき、全職員で共有いたしました。お子さんに対する職員の声かけ方法や新型コロナウイルス感染拡大防止対策、授業改善など、できる部分から改善を図っていきたく思います。

コロナ禍においてなかなか学校に来ていただく場面は少ないのですが、学校だよりやホームページ上で学校の様子をお伝えしていきます。お子さんのこと、学校教育に関することでののお問合せ、ご相談はいつでも受け付けます。保護者の皆様と学校、そして地域ぐるみで銭函の子を育てることを願っています。